

令和7年度DXハイスクール 取組概要

継続
基本



高知県立安芸高等学校
(公立・普通科・工業科)



デジタル・理数分野、自然科学を含む理工系の人材育成

取組

「防災探究」をテーマとした防災に関する デジタルコンテンツの制作

「総合的な探究の時間」において、最新のデジタル技術を活用し、地域の防災力を高めるための仮想空間を構築。学校周辺や旧校舎を含めた安芸市の街並みを3Dデータ化し、VR・ARを通じてリアルな防災体験ができるコンテンツを制作。

活用技術

- 360°レーザースキャナー：街並みや地形を高精度で計測し、3Dモデルを生成
- ドローン空撮：広範囲の地形データや街並みを効率的に収集
- VR/AR技術：没入型の防災体験を実現
- デジタルツイン：現実世界を仮想空間に再現し、シミュレーション可能な環境を構築

制作するコンテンツ

- 旧校舎を含めた安芸市の街並みを再現した3D仮想空間
- 災害シナリオを体験できるVR防災シミュレーション
- スマートフォンやタブレットで体験できるAR防災ガイド

期待される効果

- 教育的効果：探究型学習の深化、ICTスキルの習得、普通科・工業科の枠を超えたSTEAM教育の推進
- 地域社会への効果：防災意識の向上、地域資源のデジタルアーカイブ化、地域連携の強化
- 技術的・産業的效果：デジタルツインの実践事例創出、スマートシティへの布石、地域産業とのシナジー
- 持続可能性・社会的インパクト：SDGsへの貢献、教育と地域課題解決の融合



大学・企業及び地域との連携

- データサイエンスの知識やプログラミングを活用し、津波による浸水等のシミュレーションを作成する。
- (有) 礒部組と連携し、ドローン等のデジタル機器の操作により、データを収集し、データ分析活用技術の習得を目指す。
- 徳島大学理工学部と交流し、防災とDXの関連、地域での活用方法などを学ぶ。
- 関西学院大学による「探究学習の基本的なプロセスと仮説設定・検証時の重要事項」についての講演を実施。
- 制作したデジタルコンテンツを活用し、地域のイベント等でVRやARを利用した防災体験の実施予定。



小・中学校や地域への出前講座

制作したデジタルコンテンツを利用して小・中学校や地域の防災イベント等でVRやARを利用した防災体験ができる出前講座を実施予定。

育成する生徒像・取組による効果

視覚的・体験的な学びを地域の方々に提供することで、日常から防災意識を高める。また、デジタルツインの制作により興味・関心が湧き、高度な技術や知識を身につけ活用することで、理工系大学を目指す人材の増加が期待される。



大学理系学部進学率：9.9%（令和5年度実績値）
：20%（目標値）※令和10年度

数理・データサイエンスをテーマとする「総合的な探究の時間」
：9.2%（令和6年度実績値）
：20%（目標値）※令和8年度

